

# 常任委員会レポート

## 総務産業委員会

水道事業の課題を解決していくには、計画的に水道料金を見直す必要がある

令和7年4月28日、所管事務調査を行いました。

### 調査事項

#### 水道事業について

水道事業においては、給水人口の減少に伴い、有収水量はこの6年間で一日あたり約38m<sup>3</sup>、7%減となりました。また、水道管の老朽化により、更新工事が必要になります。既に法定耐用年数を経過している箇所も多数あり、全ての配水管布設替えを実施するためには、今後年間1億9千万円が必要となります。しかし、

金を見直す必要があります。

#### 今後の水道料金改定の基本方針

今後の水道料金改定の基本方針として、令和8年度内に料金改定を行い、埼玉県算定期間の状況に併じて、令和11年度以降5年に一度の料金改定の必要性を検討し、見直しを行います。

限られた予算の中では実施することが困難と考えられます。加えて、配水量の約8割は県水が占めており、令和8年度からの県水の値上がりは、水道事業の経営に多大な影響を及ぼすものと推察されます。

#### 経常損益は赤字を計上

令和5年度決算より水道事業の経常損益は赤字を計上しており、資金不足が顕著となり、内部留保資金も令和14年度にはマイナスになると予想されています。これらの財政的な課題を解決していくには、計画的に水道料



水道メーター

## 福祉文教委員会

地域ネットワークを通じて認知症支援体制の構築を図っている

令和7年4月23日、所管事務調査を行いました。

### 調査事項

#### 認知症の取り組みについて

鳩山町の認知症施策の概要について説明を受けました。

#### 認知症初期集中支援推進事業

認知症専門医、看護師、社会福祉士等が訪問し、認知症の予後予測や専門病院への受診勧奨を行い、認知症予防の啓発活動を行います。

#### 認知症地域支援推進員等配置事業

現在は、4人を配置して、ネットワークを



#### 徘徊高齢者の早期発見・保護施策

はーとん見守りシール交付事業  
令和7年度より徘徊高齢者等探索システム利用助成事業がはじまりました。

つくりながら町の認知症予防や対策をしていく支援体制の構築を図っていることです。

#### 認知症ケア相談施設を設置

在宅で、認知症の方を介護されている家族介護者に対して、鳩山松寿園東館に設置しました。

#### 認知症検診

70歳及び75歳の方が対象。早期発見・早期治療によって、進行の遅延を図ることができ



他にも、認知症サポーター養成講座の開催・高齢者の集まりとして手作業の会・鳩山町高齢者補聴器購入費助成事業・若年性認知症や高次脳機能障害のある方への支援等をおこなっています。  
自分らしく暮らしていけるような施策を今後も展開していただきたいと思います。